



## 可能性をウェルビーイングにつなげる ジョブサポートハオと連携した、ロート製薬上野テクノセンターの取り組み

健康経営とともに近年注目されている言葉[ウェルビーイング(Well-being)]。ウェルビーイングとは、「肉体的、精神的、社会的にも健康で満たされた幸福な状態にあること」と、WHO(世界保健機関)の憲章前文で定義されています。障がい者法定雇用率\*の2030年目標3.0%を重点課題として取り組んでいるロート製薬(株)では、一体感のある組織運営で、障がい者を含めた社員一人ひとりの可能性を[ウェルビーイング(Well-being)]につなげるよう取り組んでいます。



リサイクル現場で、重量物を作業場に運びます。一つひとつできる作業が増えていくことはやりにがつながっていきます。

三重県伊賀市ゆめが丘の広大な敷地にある同社上野テクノセンターでは17名の障がい者を雇用し、その内12名がハオ通じて就労しています。多様な働き方を推進し、「企業は一人ひとりが輝き、志を同じくした共同体」と考える同社では、障がい者雇用も女性活躍推進やLGBTQ+\*の取組みなどとともに重点課題の一つとなっており、障害のあるなしに関わらず「個の力」を伸ばし生かすための仕組みを取り入れています。



細かく時間を区切り、具体的に記された指示書があるので、時間の概念を持って細部まで正確に業務が行えます。



職場の責任者との連絡も密に行います。

障がいに応じた合理的配慮\*を丁寧に本人とすり合わせることもその一つ。就労前の実習を通じて担当する業務の適正を判断し、その上で作業内容を具体的に組み立てたマニュアルを作成、自立して作業ができるように環境を整えます。また慣れてくるに従って働き方も見直し、個性を活かして可能性を高め定着や発展につなげるよう取り組んでいます。



最近変わった様子はありましたか？

保健師と人事担当者、職場責任者だけでなく、時にはハオの職員も交え健康状態の情報共有を怠りません。

また人々の健康を願う社業だけに、体調面の管理には一層気を配っています。職場の責任者や採用時の人事担当者は、常駐する保健師と連携して体調チェックをおこなっており、就労を担当したハオの職員も良き相談者の一人として、絶えず本人に寄り添っています。

障がい者だからということだけでなく、誰もが仲間として、使命感を持っていきいきと働けること。そのような職場環境を作り、社員全員がウェルビーイングを目指すことが、より良い障がい者雇用にもつながっていくのでしょうか。



責任者の見守る中、金属プレス機を慎重に操作する後姿にも自信が伺えます。

(協力:ロート製薬上野テクノセンター、取材:広報委員会)【\*は裏面参照】

# 名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

## みはた虹の丘こども園

### あたらしい遊具



1月下旬、こどもの主体的な育ちのための環境作りをされている井上寿先生(こども環境アドバイザー、一級建築士)にお越しいただき、保護者も交えて『こどもの主体性』について話し合い、遊具づくりを行いました。今回は、0~1歳児クラスの課題「月齢の低い子も高い子も満足に遊ぶ」という思いを

実践するために、こどもたちがワクワクしながら探索活動を繰り返すことができ、育ちにつながる遊具を作ることになりました。

モノ作りには4家族のみなさんにもご参加いただき、こどもたちも大活躍。どのような遊具が完成したか、ぜひQRコードよりブログをご覧くださいね。

## くらしサポート ゆっくり

### グループホームでの日常「特別な日に感謝」



毎朝、7時45分にホームを出て職場に向かう。私と挨拶を交わす際、「今晚、アレやな!!新発売のビール買ってくるわっ!!」と声が弾んでいる。「ヨシッ。今晚待ってるからね。気を付けて行ってらっしゃい。」と私も気合を入れる。

今日は、年に一度の「特別な日」。クリスマスやお正月、誰の誕生日でもなく、「頑張っている自分」へ、みんなのお父さん・お母さんからの特別な日。

そして夜、彼のリビングを尋ねると「もう、風呂入ったで。今日は、コレ、買ってきてん。新発売やねん。」銀のビールを片手に、グイッと身体に流し込む。

仕事を終えたあとの至福のひとつ。銀のビールを飲み終えた彼が、「ありがたいな。今日は、仕事頑張ってきたで。来年も、また、寿司やな。」普段、感情を表さない彼の頬が赤く緩んでいた。

「ありがたいな」その一言で、明日も私は頑張れる。

## 特別養護老人ホームグランツァ

### 車椅子いろいろ



特別養護老人ホームグランツァでは、入居者様それぞれの身体機能に応じて様々な車椅子を使用いただいています。写真は一般的な車椅子ですが、足元のフットレストという足を置く部分を外し、両足を歩くように動かすと、足の運動にもなります。それ以外に、リクライニング車椅子や、立ち上がると自動でブレーキがかかる車椅子など。

また、毎月1回16カ所12項目を点検していますので、安心して使用いただけます(\*^^)v

寝たきりの方や手が不自由な方、また運動の補助など、私たち職員は身体の状態に応じて、車椅子を通じた「できる」を一つずつ増やしていけるよう、これからもがんばります!(^^)!

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。

ブログはコチラ▶



(表面より)

## 障がい者就労の、どんなことでもご相談ください。

働く方のみならず、「障がい者との接し方がわからず心配…」「どんな仕事や環境を用意すればよいかわからない…」など、受け入れ企業の様々な疑問に応え、関係先との調整を行うのが「ジョブサポート・ハオ」。

三重県から指定を受け、国との直接契約で、「働いてほしい」また「働きたい」といった、お互いの思いをつないでいます。

### 伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポート ハオ

〒518-0603名張市西原町2625 地域生活支援センター「ばれっと」内

●TEL/FAX:0595-65-7710 ●メール:hao@n-ikuseien.jp

●利用時間:8:30~17:15(月~金:祝日・年末年始を除きます。)



#### 表面用語説明

\*障がい者法定雇用率:2024年4月より2.5%。2026年7月より2.7%へ段階的に引き上げられる。

\*LGBTQ+:Lesbian(レズビアン)やGay(ゲイ)など、幅広い性のあり方を総称する言葉であり、多様な性の在り方を包括する意味があります。

\*合理的配慮:特に障がい者に対して、差別をなくし平等な環境を提供するために行う措置や調整のこと。例えば、車椅子用スロープの設置や、視覚障がい者のための点字付きエレベーターの設置などです。

